



老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2015年10月
発行責任者：永井 敏也
発行者：広報委員会

シスターのことば

『喜びの知らせ』

クリスマスに私たちは救い主イエス・キリストの誕生をお祝いします。この誕生物語を今日は救い主の母マリアにスポットライトをあてて、神の呼びかけに心の扉を開いて応答されたマリアの姿を眺めたいと思います。

神は一人の女性マリアへ天使を送って、キリストの母となる承諾をお求めになりました。マリアは「わたしは神にお仕えする者です。お望み通りにいたします。」と応えてすべてを受け入れ、全面的協力を表明されました。

神の母マリアから誕生された救い主イエス・キリストはこの世においでになる時、「わたしは神のみ旨を行うために来た」（ヘブライ10.9）と仰せられ、また ゲッセマネの園で「わたしの思いではなく、神の思いが行われますように」と祈られました。神の母マリアとおん子キリストの一生を貫くこの「お望み通りになりますように」が私たちの救いの根源となったのです。

神の摂理によって特に選ばれたマリアが神のお告げに対して応えた「お望み通りになりますように」はマリアの一生を通して持ち続けられ、イエスがかけられた十字架の下にたたずむマリアの姿となります。この言葉がキリストを受け留め、キリストの救いを私たちのために受け留めてくれました。救いのみ業において、神は、わたしたちの協力をお求めになります。私たちを救うキリストの「お望みのままに」に、わたしたちも、マリアにならって、マリアと共に、私たちのふさわしい「お望みのままに」を申し上げたいものです。



日本の信徒発見の聖母像
(長崎、大浦天主堂)

「ロザリオのころ」松永久次郎司教より抜粋
社会事業相談員 Sr.高橋 順子

— 利用者様の作品 —



平成27年4月 介護保険改正のポイント（2）

前回に引き続き介護保険改正のポイントを説明します。

◇入所サービスは「在宅復帰」をさらに強化

老健の入所サービスについては、平成24年の改定で「施設から在宅へ戻る仕組み」が強化されました。「在宅復帰強化型」の基本サービス費や「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」が設けられています。今回の改定でも、さらなる在宅復帰を進めるべく、加算型の施設の基本報酬が引き上げられました。

在宅復帰を進めるために変更されたのが、「入所前後訪問指導加算」です。まず加算を2つに分け、従来の要件の加算は引き下げ、新たな要件を求めた新加算は従来の加算よりも引き上げられました。新たな要件とは、入所前後に利用者の自宅を訪問し、「退所後の支援」まで切れ目無く行える支援計画を作成することです。利用者様が自宅に戻った後の在宅サービスまで頭に入れた支援と、統一的な連携体制が求められたと言えます。

また、摂食・嚥下機能が低下しても「口から食べる楽しみ」をできる限り失わないための支援を求められるようになりました。その鍵となるのが多職種による手厚いケアの在り方です。これまでも経口維持や経口移行に関する加算はありましたが、算定の仕方や要件を見直し、多職種が具体的にどう関わり、どのように機能の維持、向上の効果を上げていくかを重視しています。

たとえば「経口維持加算」においては多職種による食事観察やその結果に基づく会議の開催などを要件としました。「経口移行加算」についても経口移行計画に合わせて栄養士・介護士だけでなく、言語聴覚士や看護師なども加えた多職種による支援を求めています。

なお、療養食加算は引き下げられましたが、経口維持加算、経口移行加算と併せて算定できることを可能にしたことで、病状に応じた栄養の摂取と「口から食べる機能」の向上の両立を図ることが強化されています。

当施設も管理栄養士、言語療法士が中心になって、食事をいつまでも楽しんで頂けるよう取り組んでいます。

◇通所リハビリは活動や地域参加までにらみ、リハビリ効果を上げることを重視

今回の改定でサービスの流れ全体にメスが入ったのが、リハビリ系サービスです。通所リハビリのマネジメント加算では、リハビリ計画書の様式を充実させたり、居宅ケアマネや他サービス事業所も参加する「リハビリテーション会議」開催等の要件が整えられました。

このマネジメントに沿った場合、最初のステップになるのが、医療機関などを退院した直後に実施される短期集中リハビリです。これまで以上に「短期集中リハビリテーション実施加算」が評価され、更に効果的なリハビリを実施できるようになりました。

また、家での「家事・役割」や地域での「活動・参加」までを視野に入れたリハビリの実施を評価する「生活行為向上リハビリ加算」等が新設されました。

当施設でも、これらの新しい取り組みに対して、リハビリ職員が研修を受け、研鑽を積みながら、利用者様の身体の能力の向上に努めています。

— 参考資料 おはよう21
事務長 森内愉美

ポップスオーケストラ慰問

平成27年6月25日（木）



防災訓練

平成27年7月15日（水）



懐メロバンド慰問

平成27年7月18日（土）



サンタ祭り

平成27年6月27日（土）



サンタマリア祭ミサ

平成27年8月19日（水）



不二聖心女子学院生徒慰問

平成27年8月21日（金）

長寿を祝う会

平成27年9月19日（土）



リハビリ用語の基礎知識 【エアロバイク】

エアロバイクは、年齢や身体能力に合わせて、ペダルの重さ(負荷)を変えることができる自転車のような形の運動機器です。

軽度の負荷による有酸素運動を持続的に行うことで、心肺機能、すなわち全身持久力の向上が望めます。また、ペダルを漕ぐためには、股関節を大きく動かす必要があるため、関節可動域の維持と関節内の循環を良くする効果もあります。

使用にあたっては、過度な運動にならないように、イヤーセンサーやモニターで、心拍数やペダルの回転数、回転速度をモニタリングしながら安全に留意しながら使用します。

サンタマリアには、3種類のエアロバイクがあるので、背もたれが必要な方でも安心して運動していただけます。



貼り絵の制作 ～作業療法～

手先が器用に動かなくなると、食事、更衣、筆記などの細かい指の動きが要求される動作がしづらくなります。サンタマリアでは、作業療法として貼り絵に取り組んで頂いています。貼り絵は、手先を使った細かい作業を行うことで巧緻性(こうちせい)の向上と、集中して物事に取り組むことで脳の活性化を図ることが出来ます。作業の後には、その日の感想や好きだった曲などテーマを決めて話しをさせていただいており、利用者様同士の交流の場にもなっています。

貼り絵の図柄は、年末なら翌年の干支など、季節に合わせたテーマを決め、出来上がりを想像しながら取り組んで頂いています。

皆様の力作は 1F 機能訓練室に飾ってあります。面会にお越しの際には是非ご覧ください。



冬季感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの冬季感染症に注意しましょう。

手洗い・うがいの励行、マスクの着用と共に、毎日の健康管理にも注意しましょう。

今年も施設内で入所者の方のインフルエンザ予防接種を実施いたします。重症化予防、集団感染防止の為、ワクチン接種にご理解ご協力をお願いいたします。 感染防止委員会

永年勤続表彰

平成 27 年 8 月 14 日(金)

聖霊会 永年勤続表彰が執り行われました。

介護福祉士 申智仁(勤続 10 年)、端地吾朗(勤続 10 年)が表彰されました。



社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101 Email：info@santamaria.or.jp

電話：052(803)3611

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp

FAX：052(803)7435

次回発行予定 平成28年4月